

山口赤十字病院外来医師担当表

よく見るところに貼ってご利用ください
平成30年5月25日現在

診療科名	受付時間		月	火	水	木	金	
内科	8:15~11:15	新患	河野(肝臓)	有田/岩本(腎臓)	森崎(消化器)	近藤(学)(糖尿病)	中山(膠原病) (完全予約制)	
			春山(腎臓)	亀田(消化器)	鈴木(消化器・痔)	末兼(消化器)	岡田(消化器)	
			近藤(容)(糖尿病)		國近(呼吸器)			
		再来	國近		國近	鈴木		
			名西	近藤(容)	河野	有田	森崎	
			近藤(学)	近藤(学)	岩本	近藤(容)	近藤(学)	
岡田	末兼	岡田	亀田	末兼				
民本/中山	民本/中山	春山	民本/中山	山本 ^{第1-3 14:00~17:00}				
循環器内科	8:15~11:00	新患	道重	鈴木	新患のみ (院外紹介のみ) 第1・3・5 鈴木 第2・4 道重	道重	鈴木	
		再来	鈴木	道重		鈴木	道重	
小児科	8:15~11:30	新患/再来	西郷	門屋	門屋	門屋	村本	
			濱野	西郷	濱野	西郷	寺地	
			大淵	寺地	大淵	寺地	大淵	
					村本			
外科	月・水・金 8:15~11:00	新患	亀岡(外科一般、 肝、胆)	黒木(外科一般、 呼吸器)	山中(外科一般、 食道・腹腔鏡)	佐々木(外科一般、 肺・血管)	森松(外科一般、 乳腺)	
	火・木 8:15~11:30		再 来	森松	横畑	横畑	黒木	横畑
				山中	佐々木	宮崎	山中	佐々木
				宮崎	亀岡	伊達	亀岡	黒木
☆ストーマ外来：第2・4火曜日 午後(完全予約制)			☆NST外来：第1・3木曜日 午後(完全予約制)					
乳腺外科	火 8:15~11:30 水金 8:15~11:00	新患	森松	横畑	横畑	黒木	横畑	
整形外科	8:15~11:00	新患/再来	城戸(秀)(膝関節 人工関節)	加茂(股関節 リウマチ)	城戸(秀)(膝関節 人工関節)	城戸(聡)(足の外科 関節外科)	城戸(秀)(膝関節 人工関節)	
			加茂	有隅	加茂	金海	城戸(聡)	
			金海		城戸(聡)		有隅	
					國分		國分	
☆骨粗鬆症専門外来：月曜日 午後(完全予約制)								
脳神経外科	月・火・木 8:15~11:30 金 8:15~11:00	新患/再来 手術日(金) は休診となる事 があります	濱田	濱田	手術のため 休診	濱田	濱田	
皮膚科	8:15~10:30 <small>紹介状をお持ちでない新患は 月・木曜のみ、再来は完全予約制</small>	新患	三好	高旗	高旗	久本	高旗	
		再来	高旗	高旗	高旗	高旗	高旗	
泌尿器科	8:15~11:00	新患	中村	須賀(院外紹介)	野村	塚本	平田	
		再来	須賀	塚本	須賀	中村	塚本	
☆CAPD外来：毎月第1金曜日 ☆ESWL：毎週火・木曜日 午後～								
産婦人科	月・水・金 8:15~11:30	新患	小松/宮田	宮田/(月原)	金森/長屋	宮本	申神	
	火・木 8:15~11:00	再来	金森/宮田	宮田	月原/長屋	申神/宮本	小松/(金森)	
		妊婦健診	申神	宮田	小松	月原	宮田	
眼科	紹介状をお持ちでない新患 月 8:15~9:30 金 8:15~10:00	新患	徳田	山内	山内		西本	
	再診/紹介状をお持ちの新患 8:15~10:30	再来(予約制)	山内/徳田	山内	山内	山内	山内/西本	
耳鼻咽喉科	8:15~10:30	新患/再来	佐藤	橋本	橋本	橋本	橋本	
			久我	佐藤	久我	久我	佐藤	
緩和ケア科	8:15~11:30	新患/再来 新患は完全予約制(院外)	当番	上田	当番	高	竹内	
脳神経内科	8:15~11:30	新患/再来 (完全予約制)	大堀	大堀	大堀(再診のみ)	大堀	大堀(再診のみ)	
歯科 口腔外科	8:15~11:00	新患/再来	志田		志田	永田	永田	
			上村	上村	上村	上村	上村	
			近藤	近藤	近藤	近藤	近藤	
			梶田	梶田	梶田	梶田		
セカンドオペ ニオン外来	完全予約制 予約先 083-923-0390		各科の専門医が、ご相談をお受けいたします。 受診日時については、患者さんの希望日時と調整の上決定いたします。					

- 各診察日担当医師につきましては、手術・学会等により代診・休診とさせていただきます。
- 2018年6月より、神経内科は脳神経内科へ科名が変更になりました。

総合病院山口赤十字病院
TEL 083-923-0111

総合病院山口赤十字病院 院外広報誌

vol.179 2018.6月号

ご自由にお持ち帰りください

〒753-8519 山口市八幡馬場53-1
TEL.083-923-0111
http://www.yamaguchi-redcross.jp/

山赤かわら版



病院キャラクター
やまクロです

yamaseki 特集

周術期あれこれ

麻酔科

伊藤 誠



はじめに

私が当院に赴任したのは昨年1月ですが、当院の麻酔科は平成4年に開設され、四半世紀が過ぎました。その間、新たな麻酔関連の薬剤や器具、モニター機器の登場で麻酔の安全性や質はずいぶん向上しました。それに加えて腹腔鏡手術などの低侵襲のものが増えるなど手術も進歩してきましたが、それだけではありません。

周術期管理

手術前、手術中、手術後の一連の期間を周術期といいます。手術前からのリハビリテーションや口腔ケア、静脈血栓症(いわゆるエコノミークラス症候群)の予防、術後の早期離床、栄養管理など様々な分野の周術期管理が重視されるようになってきました。グラフは昨年と20年前の1997年の麻酔科管理症例の年齢別の比較です。年間の全体の麻酔件数が1509件から2263件に増えましたが、年代的には高齢者(特に80歳以上)の麻酔の増加が目立ちます。山口県の人口分布が高齢化している影響があるとは言え、20年前に比べ麻酔・手術、周術期管理が進歩したことで高齢者でも安全に行えるようになった証ではないかと考えます。

喫煙と周術期

喫煙により肺炎などの周術期合併症の危険性が増え、術後の傷の治りが悪くなります。高齢化は避けられないことですが、禁煙はできます。手術が決まり次第、禁煙をお願いします。当院にはこの春から

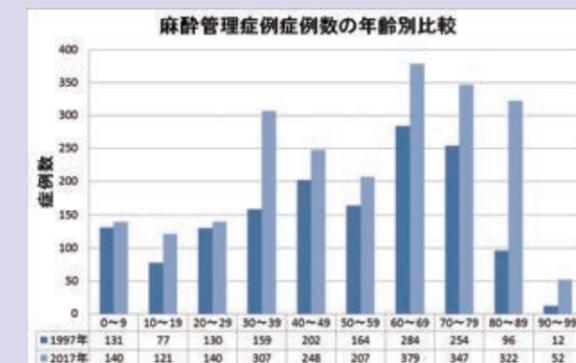
禁煙外来が開設されました。いつでも手術が受けられるように、と言うわけではありませんが喫煙がやめられない方には受診をお勧めします。

産科麻酔

グラフでは30代の麻酔件数も増えていますが、帝王切開術が全体で年間61件から178件に、30代だけで31件から120件に増加したことが影響しています。当院では緊急帝王切開術時に手術決定から麻酔をして娩出するまでの時間を極力短くできるように体制づくりをしています。

麻酔科の仕事

手術室で患者さんに麻酔をかけることはともかく、麻酔科の仕事で大事なものは術前に患者さんの状態を評価し準備をする部分だと考えています。そこには主治医はもちろん呼吸器内科や循環器内科をはじめ他科の医師や検査部、薬剤部、入院支援センターなど他部署との連携が不可欠です。近いうちに当院にも電子カルテが全面導入される予定で、さらに連携を深められるのではないかと期待しています。これからも手術を受けに入院する患者さんが周術期を安心して過ごせるよう心がけてまいります。



〈理念〉

わたしたちは、地域の皆様に、あたたかな信頼のおける医療を提供します。

〈基本方針〉

1. 赤十字の心をもって、良質で温もりのある医療を提供します。
2. 医療にかかわるあらゆる安全管理に、最大の努力をします。
3. 災害時には、地域の皆様の医療救護活動に努めます。
4. 一人ひとりが生き生きと、働きがいのある病院を目指します。



日本医療評価機構
機能評価認定病院



1 5月11日に看護の日のイベントを行いました

看護師 藤村 祥帆

看護の日は、21世紀の高齢社会を支えていくために必要な「看護の心・ケアの心・助け合いの心」を老若男女問わず誰でも育むきっかけとなるようにと1990年に制定されました。

当院では、今年も看護に因んだイベントを開催し、「血圧・体脂肪・握力測定、健康相談、ハンドマッサージ、妊婦体験、赤ちゃん抱っこ体験、乳がんモデル触診、認知症相談、防災・ボランティアグッズの紹介」のコーナーを設置し、小さなお子様からご高齢の方まで多くの方々にご参加いただきました。イベントの体験を通して、看護を身近に感じていただけたように思います。これからも日々、皆さんとのふれあいから、看護の心を届けられるよう励んでいきたいと思っています。



2 入院時の食事負担額変更のお知らせ

平成28年4月より厚生労働省によって段階的に負担額が変更されている入院時食事療養費における「標準負担額」が平成30年4月より再度変更致しました。

変更は図のとおりです。

〔入院時の1食あたりの負担額〕

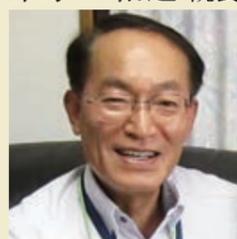
区分	平成28年 3月31日まで	平成28年 4月1日から	平成30年 4月1日から
① 一般の方	260円	360円	460円
② 住民税非課税の世帯に属する方(③を除く)	210円	負担額の引き上げはありません	
③ ②のうち、所得が一定基準に満たない方など	100円	負担額の引き上げはありません	

山赤かわら版では、毎回、当院が日頃大変お世話になっている開業医の先生方に登場していただきます

者さんをご紹介ください。

voice 61 かかりつけ医の声

すえなが内科在宅診療所
末永 和之 院長



平成25年4月に山口赤十字病院を定年退職後に病院ですすめてきました。在宅ホスピス緩和ケアなどを継続して行うために在宅療養支援診療所を開設しました。在宅支援に向けて諸機関と連携して、訪問診察・往診の形で医療面から患者・家族を支えています。365日、24時間対応でがんの患者さんをはじめ、すべての皆さんが住み慣れた自宅で最後まで生き抜いていけるように努力しています。午前中は一般外来、午後は在宅診療(木、土は午前)から)体制をとっています。いつも山口赤十字病院の皆様方にご無理なお願いをして患者さんを診ていただき感謝します。息抜きの水泳も遠のいていますが、体力維持のためにも楽しみたいと思っています。これからの山赤かわら版にも気軽に患者さんをご紹介ください。



知得 Column 知って得するコラム

手術看護認定看護師の立場から

中央手術室 手術看護認定看護師 野口 真理子

病棟や外来と比べ、手術室看護師はどのようなことをしているのか、あまり知られていないのではないのでしょうか。毎日様々な手術を担当していますが、手術中は患者さんが出来るだけ身体の負担がないように常に注意を払っています。

また、手術前の患者さんを訪問したり、長時間手術を受けた方への手術後の訪問などもしています。手術前後の患者さんにお話を伺うことで、患者さんに応じた看護が提供できるように努めています。手術前に「まな板の上の鯉です」と言われる方も多のですが、術後の回復に向けて手術を前向きに臨めるよう、私たちは患者さんに寄り添い、支援したいと考えています。

「手術が決定した外来の時点から『周術期』の始まり」と言われています。今後は、より早い時期から手術を受ける患者さんに関わっていきけるよう、手術看護認定看護師としての活動を広げていきたいと思っています。お気軽にご相談ください。



勉強会では実際に患者さんと同じ手術体位を取る演習などもしています

R e c i p e

yamaseki 149
旬の食材を使って
ヘルシーメニュー



カレーピラフ

栄養課 管理栄養士 福重 裕子

水加減や火加減が難しいピラフを、炊飯器に材料を入れて炊くだけで簡単にできるカレーピラフを紹介します。カレー粉・にんにく・胡椒などスパイスを効かせることで、減塩でもおいしくいただけるメニューです。カレー粉はお好みで調整することで大人から子供までいただけます。

【材料】(5人分：ご飯茶碗約200g分)

米	3合	サラダ油	少々
バター	3g	塩・胡椒	少々
玉葱	110g	ホールコーン缶	90g
人参	50g	昆布だし	500cc
生椎茸	20g	出しの素	2g
にんにく	2g	塩	4g
生姜	2g	S & Bカレー粉	5g
牛ミンチ	100g	酒	10g

1人分	エネルギー : 365kcal	炭水化物 : 71g
	たんぱく質 : 9.9g	塩分 : 1g
	脂質 : 2.9g	

(下準備)
・昆布で一番だしを作る。
鍋に水1ℓと昆布20gを入れ火にかける。約10分間で沸騰する位の火加減に調整する。(10分以下の短時間では昆布の旨みがでない)沸騰直前になったら昆布を取り出し布などでこす。

【作り方】

- ①米をといてザルにあげておく(約一時間)
- ②フライパンにバターを熱し、米を炒めて炊飯器に入れる。(強火で1分)
- ③玉葱は粗くみじん切り、他の野菜は全てみじん切りにする。
- ④肉を炒める：同じフライパンにサラダ油を少量入れ、肉を炒め、塩・胡椒を少々する。(強火で1分)
- ⑤野菜を炒める：同じフライパンにサラダ油を少量入れ、にんにく、生姜、玉葱、人参、椎茸を入れ炒め、塩・胡椒を少々する。(強火で2分)
- ⑥だしをボウルで混ぜ合わせておく。
- ⑦炊飯器へ⑥のだし・肉・野菜・コーンを入れ、全体を混ぜてから炊飯する。

＜患者さんにお伝えすること＞

医療は、あなたと医療提供者との信頼関係をもとに協力してつくりあげていくものであり、あなたに主体的に参加していただくことが重要です。このような考えにもとづき、山口赤十字病院は、患者さんの権利と義務について次のとおり表明します。

1. あなたは、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。医療提供者に対し、あなたの健康に関する情報をできるだけ正確に提供してください。
2. あなたは、診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。医療提供者の説明において理解できないことがあればお尋ねください。
3. あなたは、担当医師が提供する検査や治療法に対して自らの意志で同意することも断ることもできる権利があります。納得、合意した検査や治療には意欲を持って取り組んでください。
4. あなたは、当院における診療に関する全てのプライバシーが保護されます。院内での医療実習や症例研究において個人の診療情報を利用していただくことがあります。取り扱いには細心の注意を払いますのでご協力をお願いします。
5. あなたは、ご自身が受けている医療について他の医師の意見を聞く権利があります。
6. あなたは、院内のすべての患者さんが快適な環境で医療を受けられるよう院内の取り決めや職員の手配を守ることがあります。大声や暴力行為、不当な要求などにより他の患者さんの診療に支障が生じた場合は、診療をお断りしたり、警察に通報させていただくことがあります。